

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	AYA(Adolescence and Young Adult)世代乳がんの個別化予防に資する遺伝的要因の同定を目指す研究
	研究目的	AYA 世代（思春期や若い成人）のがんは，その数も少なく，背景となる遺伝的な要因については，ほとんど判っていません．そこで，この研究では複数の医療施設が共同して研究を進めます．神奈川県立がんセンターでは，2006年1月1日から2020年12月31日の間に治療を受けた乳がん患者さんを対象とします．血液などから得られたゲノム DNA を用い，子孫に受け継がれる遺伝子の多様性を調べ，患者さんの匿名化された診療情報や生活習慣情報と照らし合わせて，がんの発生や特性に関わるもの（遺伝子座）を探します．AYA 世代（16歳から39歳）の方と40歳以上の方の情報を比較し，AYA 世代の乳がんの特徴的な点を探します．これが解明されると，AYA 世代のがんの発症予防や治療法の開発に極めて有用な情報が得られます．
	研究期間	西暦 2018 年 2 月 15 日 ~ 西暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	山下 年成
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	乳腺内分泌外科，臨床研究所，生体試料センター
	共同研究の場合，共同研究機関および各施設での研究責任者	国立がん研究センター研究所 ゲノム生物学研究分野 河野 隆志 化学研究所統合生命医科学研究センター チームリーダー 桃沢 幸秀